2011.3.11 東北地方太平洋沖地震における東京湾埋立地の地盤変状について−千葉県立浦安高校グラウンドに生じた長大地割れの成因−

岩本広志１+，阿部裕寛+，東将士+，樋口茂生+

Ground Surface Damage on Man-made Land caused by The 2011 off the Pacific coast of Tohoku Earthquake - Formative factor of Long Open Cracks in the Urayasu High School -

IWAMOTOH Hiroshi1＋，HIRONOBU ABE＋, HIGASHI Masashi＋, HIGUCHI Shigeo＋

はじめに[[1]](#footnote-1)

 (I)地盤表面に発生した地割れ及び噴砂について

　調査地点である浦安高校は1964年から始まった第I期の埋立地上の標高3m地点に位置し，沖積地との境界地（護岸堤）に近接している(第1図)．このことから埋立層の厚さが3m前後と推定され，

図-1　調査地域概図と空中写真　概図の段彩標高値は国土地理院基盤地図情報DEMを使用

浦安現在地

1. 鎌ヶ谷道野辺本町1-16-44-504

togoiwamoto@yahoo.co.jp

+千葉支部　 [↑](#footnote-ref-1)